


わたしたちが運ぶのは未来です

 **運輸省**



みなと しみず

発行所

第五港湾建設局
清水港湾工事事務所
御前崎港事務所
下田港事務所



あいさつをする江口補佐官

乾杯をする黒田局長

FAZフェア開催

平成4年「輸入の促進及び
対外投資事業の円滑化に関す
る臨時措置法」(FAZ法)
が施行されました。この法律
は、輸入の円滑化のための港
湾・空港及びその周辺地域に
おいて輸入に関する施設・事
業・活動を集積させる輸入促
進地域(FAZ)を設置する
ものであり、これまでに全国
で22地域が承認されています。
清水港はその輸入促進地域
(FAZ)の承認を平成8年
3月に受け、平成9年4月か
ら「清水港興津国際流通セン
ター」の建設に着手。平成10
年3月に完成を見、その完成
を祝って3月14、15日に「F
AZフェア」が開催されたも
のです。

省からは港湾局長の代理とし
て、江口民間活力推進室補佐
官、名古屋の第五港湾建設局
からは黒田局長が、また当所
からは藤田所長が参列しまし
た。

はじめに、主催者を代表し
清水港振興株式会社 山田社
長の挨拶のあと、木本港湾局
長の祝辞を江口補佐官が代読
したのに続き、多くの方々か
らの祝辞や祝電が披露されま
した。また、黒田五建局長の
音頭で同センターの今後の隆
盛を祈念して全員で乾杯する
など、地元の熱い期待の中無
事記念式典が終了したもので
あります。

式典終了後は多彩なイベン
トが開かれ、特に輸入商品の
展示即売コーナー等は地元の人々
をはじめ遠くからの買い物客
でにぎわっていました。



三保ケーン製作場
「ウインチ小屋」新築

昭和43年3月に築造されて以来、長年に亘りケーン製作を支えてきたウインチ小屋が30年の人生（小屋生）を終え、二世にバトンを譲ることになりました。その間、ケーンを作ることに385函、ただひたすらケーン製作に尽瘁し、永年勤続表彰の声もかからず寂しく平成9年12月に解体されました。しかし、平成10年3月に二世小屋が完成となり、職員一同熱い期待を寄せています。

30年の小屋生を省みずと、昭和46年3月原因不明ながら小屋及び機械類が爆発炎上、全て喪失するという事故が



旧 ウインチ小屋



新 ウインチ小屋

ありましたが、よく復旧されたこの度その寿命を終えたものです。

新しく生まれ変わったウインチ小屋は、機動性と省力化を重視したホイストクレーン2.8t吊りを備え、運転操作室には空調機を設けて職場環境に配慮するとともに、清水港みなど色彩計画に従って環境にやさしく周辺地域との調和を考慮したマリンプルー系統の色彩を採用しました。

清水港は漁業補償も終わり、平成10年度からは新興津の整備が本格化することから、今回新築されたウインチ小屋も大活躍することになると思います。

平成10年度
港湾整備事業費

清水港湾工事事務所が管轄する3港（清水港・御前崎港・下田港）の、第9次5ヶ年計画（実際は7年計画）の3年目にあたる平成10年度予算が4月8日に成立し、その総額は43億円となりました。

主な事業としては、清水港において、新興津地区の外貿コンテナターミナル整備に向けて岸壁（-15m）の実施設設計調査費が認められました。御前崎港では、女岩地区の多目的外貿ターミナル岸壁の本体となるケーンの据付けが開始されます。また、下田港においては、沖合防波堤用のハイブリッド構造による消波ブロック内蔵双胴型ケーンの第2函目の据付けを行います。当所所轄の各港の予算概要は下表のとおりです。

1. 港湾整備事業費

(単位：千円)

港名	整備目的	地区	施設名	事業費	事業内容
清水港	港内の静穏度、船舶の安全航行 〃 外貿コンテナターミナル整備	外港地区	防波堤（改良）	360,000	既設防波堤の消波工施工
		新興津地区	防波堤	390,000	基礎工等防波堤の築造
		〃	岸壁（-15m）	70,000	調査
	計			820,000	
御前崎港	港内の静穏度、船舶の安全航行 〃 多目的外貿ターミナル整備 船舶の安全航行	女岩地区	防波堤（東）	200,000	既設防波堤の消波工施工
		〃	防波堤（西）	200,000	本体、消波工等防波堤の築造
		〃	岸壁（-14m）	1,660,000	基礎、本体等岸壁の築造
		〃	航路泊地（-14m）	40,000	
	計			2,100,000	
下田港	天候の急変、暴風雨等の異常気象時に対する船舶の安全避難 災害復旧	下田地区	防波堤	1,401,000	基礎、本体等防波堤の築造
		〃	〃	21,190	消波工の施工
	計			1,422,190	
	合計			4,342,190	

2. 作業船整備費

(単位：千円)

項目	船種	事業費	備考
修理	監督測量船	11,120	まさき（清水港）、ふじ（御前崎港）、しもだ（下田港）

御前崎港だより 御前崎港壁面大作戦

御前崎港事務所で作成した岸壁(-14m)ケーソンに地元の小・中学生が絵を描く「御前崎港壁面大作戦」を3月23、24、26日の3日間にわたり西埠頭のケーソン製作場で実施しました。

この大作戦は、今年が御前崎港の築港50周年と節目の年でもあり、地元の子供たちに港をもっと知ってもらい、身近に感じられるような催しをしようと当所が企画し、御前崎・相良両町の協力を得て実施したものです。

当日は、天候にも恵まれ大作戦に参加した御前崎・白羽・地頭方各小学校の5年生(新6年生)と御前崎中学校の美術部のみなど約220名が、ケーソンの側面の幅15.5m、高さ1.7mの範囲を色鮮やかな絵で彩っていました。

御前崎中学校のみなさんは23、24日の2日間で、大きな鯨を中央に、左右には虹やカモメ、魚の群れ、御前崎のシンボル「灯台」を配し、当日立ち会った関係者を驚かせるほどのすばらしい作品を完成させました。また、小学生たちは魚をはじめウミガメ、灯台などを一人やグループで自由な発想のものとのびのびと描いていました。完成した絵は、ケーソンが沈んでしまうのがもったいないとの声が出るほどでした。

当日はマスコミも取材に訪れ、夕方のニュースで現地の

模様が放映されたり、新聞にも記事が掲載されました。

このケーソンは、7月下旬の現地据付まで西埠頭のケーソン製作場に置かれていますので、約4ヶ月間は子供たちの力作が埠頭の道の

路からいつでも見ることができます。是非足を運んでみてく



下田港だより 世界半島会議 下田で開催

国内外の半島自治体が集い、あすの活性化を探る「世界半島会議(国土庁、静岡県、伊豆中南部半島振興協議会「12市町村」主催)が下田市白浜のホテル伊豆急で開催されました。海外から米国オールドミッション半島、英国コンウォール半島、豪州エア半島、ニュージーランドのマヒア半島の代表と、北は渡島半島(北海道)から南は薩摩半島まで国内21半島地域の自治体から約350人の参加がありました。

石川静岡岡知事は「半島のもつ有利さに加え不利な点をいかに克服するかという点で、会議の成果を期待したい」と、国土庁地方振興局長は「半島

の魅力を最大限に引き出し、国内外の交流、連携、活性化を図りたい」と挨拶がありました。

会議ではリサイクル・公害防止・海岸保全の環境行政に力を入れているトーベイ(英国)や海洋性リゾートタウンのまちづくり計画に取り組み千葉県館山市の事例発表が行われました。その後はパネ

ルディスカッションが開かれ、新たな魅力ある半島創出の熱い議論が行われました。



人事異動

平成10年3月31日付

氏名	発令事項	現職
高橋政男	退職	第一工務課 専門官
込山敏夫	退職	第二工務課
石川龍男	辞職	経理課長
市川生長	経理課長	五建本局
近藤春彦	五建名古屋	御前崎工場 事務係長
土屋敏子	御前崎工場	経理係長
都田 豊	経理係長	下田工場事務係長
瀬戸口昌亨	下田工場	五建本局
安田幸博	事務係長	五建本局
丸岡 初	五建名古屋	工務課長
山田 誠	港空	五建本局 工務係長

清水港への入港 客船・帆船案内

ばいこくひなす客船 予定 7月22日(入港・出港) クルシンプを楽しむ会	飛鳥(客船) 予定 10月1日(入港・出港) チャータークルーズ	日本丸(帆船) 予定 11月13日~18日(入港・出港)	青雲丸(練習船) 予定 11月13日~17日(入港・出港)	新さくら丸(客船) 予定 12月27日(入港・出港) 第31回静岡県青年の船(出発)
--	--	---------------------------------	----------------------------------	--

村松良彦	工務課第一	五建本局
大塚尚志	第二工務課	工務課
内藤了二	工務課	二建本局
小栗智明	第一工務課	五建四日市港 専門官
宮崎正治	五建本局	第一工務課
林 芳文	第一工務課	五建本局
牛田 進	四日市市	御前崎工場長
森 博利	御前崎工場	五建本局
細川浩二	関西国際	御前崎工場 空港係
下田義治	御前崎工場	港湾技術研究所
河合尚男	港湾技術研究所	第二工務課
山脇秀仁	第二工務課(新規採用)	

管内の動き
2 管内健康安全委員会
5 東海大 東先生現場視察
9 清水港津波防災ステーション検討会
13 御前崎港振興会 名古屋港視察
16 技術開発会議 幹事会
16 17 所長会
16 19 内部検査
19 相良町議会 御前崎港見学
19 御前崎港築港50周年記念式典準備会 所長・次長会議
20 清水港湾連絡協議会講演会
23 清水港湾建設工事安全協議会
27 下田港湾対策協議会
2 清水港津波防災ステーション検討会
2 清水港漁業補償契約締結
6 技術開発会議
6 広報推進会議
6 独自禁止法関係講習会
9 下田港海工・コナスト計画調査幹事会
10 大型船対応型コンテナターミナル技術開発調査検討会
11 御前崎町職員他御前崎港視察
12 二建職員下田港視察
12 御前崎港西埠頭利用調整連絡会
13 熱海港海津整備等検討委員会
14 清水港興津国際流通センター開業式典
16 静岡県生コンクリート品質管理協議会
17 下田港海工・コナスト計画調査委員会
18 静岡空港国際化懇談会
19 清水港津波防災ステーション委員会
20 清水市防災会議
24 清水港みなと色彩計画推進協議会
24 御前崎港工事安全協議会
24 コナスト総務対策実行計画幹事会
24 26 御前崎港ケーソン壁面大作戦及O湾岸学会
4月
2 清水港湾連絡協議会
8 成崎丸 体験乗船会
10 予算要求説明会
21 清水港湾工事安全協議会総会
23 清水港湾協議会総会
24 御前崎港湾工事安全協議会総会

※発行所
清水港湾工事事務所
〒42-022 静岡県清水市日の出町七二二
TEL (〇五四三) 五二一四一四六代